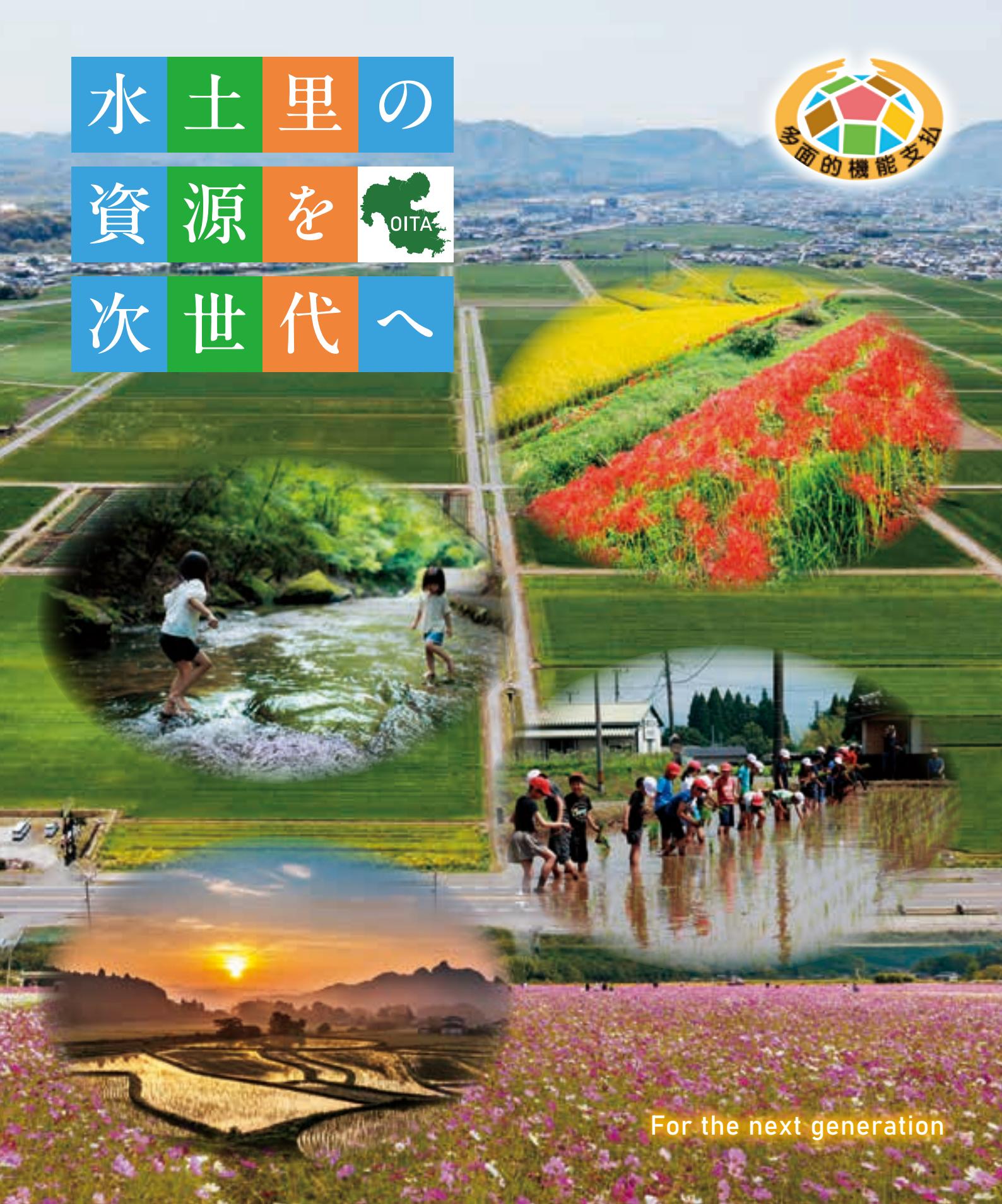




水土里の 資源を 次世代へ



For the next generation

令和6年度

多面的機能支払交付金

活動レポート 2024

大分県多面的機能支払推進協議会

多面的機能を發揮し持続的農業に取り組もう



農地や農業用水路など農村の資源は県民共有の財産であり、次の世代に良好な状態で引き継いでいくことが必要です。しかし、高齢化や非農家との混住化が進み、農村の「まとまり」が弱まってきています。

このような中、地域ぐるみで良好な農村環境の保全や農業用水路などの長寿命化を図る「農地・水・環境保全向上対策」が平成19年度よりスタートし、平成26年度からは日本型直接支払制度の中の「多面的機能支払交付金」として、活動組織がそれぞれの地域で農地や農業用施設の保全管理など「ふるさとを守る」取り組みを進めており、地域コミュニティの強化や集落機能の維持にも効果を発揮しています。

中山間地域等直接支払交付金

日本型直接支払制度

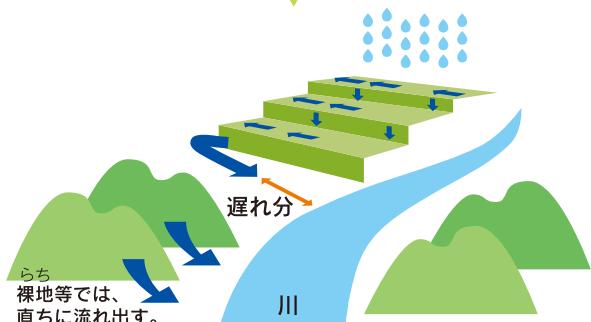
多面的機能支払交付金

環境保全型農業直接支払交付金

農業・農村の多面的機能

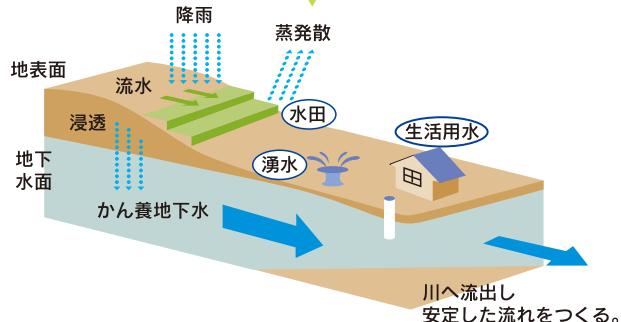
農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な食料を作るだけでなく、洪水を防ぎ、地下水を養い、やすらぎの場となるなど大切な様々な恵み(多面的機能)をもたらしています。

洪水防止機能【ダムの役割】



水田は、雨水を一時的に貯えることができるため、一気に川に流れ込むことはなく、洪水の危険を減らしてくれます。

水資源かん養機能【水の浄化と地下水をつくる】



水田に貯められた水は、徐々に浸透して地下水になり、生活用水や工業用水として利用されます。

土砂崩壊防止機能【土砂崩れを防ぐ】



水田として活用することにより、降雨による法面の崩壊など災害の発生の抑止となります。

生物多様性保全機能【生き物のすみかになる】



農業生産活動を行うことで、水生生物などの生きものを保全することとなります。

農地や農業用施設の保全

農村環境の保全

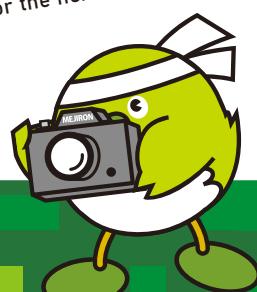
多面的機能支払交付金

農村の協働力によって、将来にわたって適切に保全管理されることで、持続的農業の発展と多面的機能が発揮されます。

多面的機能支払交付金とは？

多面的機能支払交付金は、農地・水路・農道などを共同活動で保全管理している活動組織に交付金を交付する制度です。

For the next generation /



多面的機能支払交付金

1 農地維持支払交付金

2 資源向上支払交付金

② 資源向上支払交付金(共同)

③ 資源向上支払交付金(長寿命化)

1 農地維持支払交付金

農業者等による組織が取り組む、農地や水路等施設の草刈り、泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動に対する支援です。

農用地・施設の保全



草刈り・泥上げ

農用地の保全



鳥獣害防止柵等の保全管理

施設の保全



異常気象等後の応急措置

2 資源向上支払交付金

共同活動／地域資源の質的向上を図る共同活動

地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成など、農村環境の保全といった、地域資源の質的向上を図る共同活動に対する支援です。

令和7年度より
新たな支援が
加わります

施設の保全



水路の目地補修

啓発・普及活動



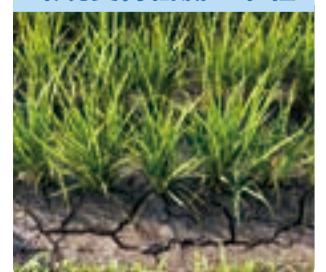
学校教育との連携

軽微な補修



カバープランツ^{※1}

環境負荷低減の取組



長期中干し等^{※2}

※ 1 カバープランツ:背丈が低く地を這うように育つ植物のことで、草刈り作業の省力化が図られます。

※ 2 地域共同で行う環境負荷低減の取組を促進するため、これまでの環境保全型農業直接支払交付金において支援対象としてきた長期中干し等の水管理を伴う取組への支援を資源向上支払の加算措置(みどり加算)として追加されます。

【対象の取組】 ●長期中干し ●冬期湛水 ●夏期湛水 ●中干し延期 ●江の設置等

3 資源向上支払交付金

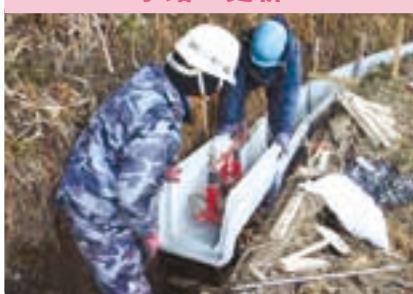
長寿命化／施設の長寿命化のための活動

※直営施工のすすめを参考にしてください
詳しくは右の2次元コードから

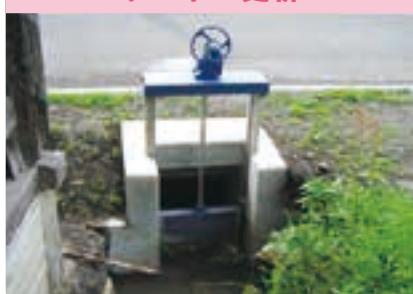


農地維持支払交付金と同様の活動組織が、老朽化した農地周りの水路、農道など施設の長寿命化のための補修・更新等の共同活動に対する支援です。

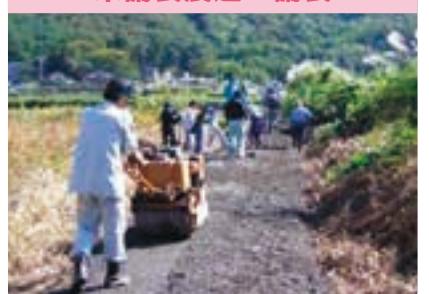
水路の更新



ゲートの更新

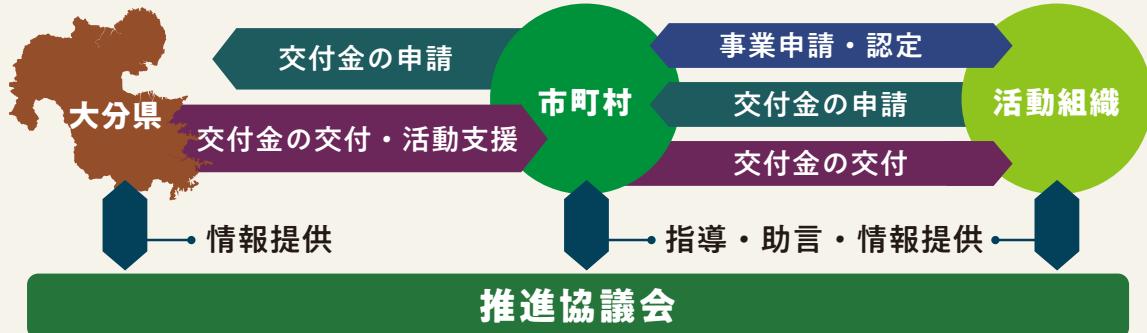


未舗装農道の舗装



支援のしくみ

市町村が認定した活動計画に基づき、
市町村から活動組織に交付金が交付されます。



多面的機能支払交付金を活用しよう

基本交付単価（農林水産省が1／2、都道府県・市町村が1／2を負担）

(単位:円／10a)

都府県	① 農地維持支払 ※8	② 資源向上支払 共同 ※1,2,3	①と② に取り組む場合	③ 資源向上支払 長寿命化 ※4,5,6	①、②及び③ に取り組む場合 ※7
田	3,000	2,400	5,400	4,400	9,200
畑※9	2,000	1,440	3,440	2,000	5,080
草地	250	240	490	400	830

※1／農地・水保全管理支払の取組を含め5年間以上実施した地区は、②の単価に0.75を乗じた額になります。※2／②の資源向上支払(共同)は、①の農地維持支払と併せて取り組むことが基本になります。※3／多面的機能の増進を図る活動に取り組めない地区は、単価は5/6を乗じた額になります。※4／水路や農道などの施設の補修や更新を実施します。※5／本単価は交付上限額になります。直営施工を実施しない地区は、単価は5/6を乗じた額になります。※6／広域活動組織の規模を満たさない場合、③の交付上限額は、保全管理する区域内に存在する集落数に200万円を乗じた額と上記単価に対象農用地面積を乗じた額の小さい額となります。※7／②及び③に一緒に取り組む地区は、②の単価は0.75を乗じた額となります。したがって、①、②及び③に一緒に取り組む場合、都府県・田では合計で9,200円/10aになります。※8／事業計画期間中に畠地化する場合、当該期間中においては、農地維持支払の交付単価は地目変更前の単価を適用します。※9／畠には樹園地を含みます。

活動組織の構成例

農地維持支払交付金



資源向上支払交付金



きたおおがちくのうそんかんきょうほせんかいぎ 北大神地区農村環境保全会議 (日出町)

日出町北部に位置する割合平坦な田園地帯において、里山景観を保全し、地域の農地、農道、農業用水路等その他施設を今後も維持・増進、農村コミュニティーを活性化するために活動を開始。

今年度は日出町で初となる「田んぼダム」の推進にも取り組んでいる。

地区概要

- ・設立 平成20年度
- ・取組面積 6.32ha（田）
- ・資源量 水路 1.6km、農道 1.7km
- ・主な構成員 農業者、非農業者 計9人
- ・交付金 約28万円（農地維持、資源向上支払）

活動開始前の状況や課題

本地域は、水資源に恵まれ、良質な米を生産している。今後とも農業振興を図るためにには、農業用用排水路を適切に保全管理することが必要である。

本地域では、地域住民と協力して農業用用排水路の清掃等を行うことにより、多面的機能の発揮の促進を図ることとしている。

取組内容

管理施設の草刈りや泥上げ、水路の軽微な補修等、施設の維持管理



生態系保全、シジミの生息確認



今年度から「田んぼダム」のせき板設置



のぼり旗によるPR



取組効果



維持管理を地域一体となって行うことでの周辺環境に対する意識の向上につながっている。また、遊休農地の発生抑制にも寄与している。



定期的な点検・診断を行うことで、軽微な補修で問題を解決することが可能となり、施設の長寿命化にもつながっている。

令和6年度「田んぼダム」6.3ha取組
今年は大雨による被害はなかった。今後も継続していきたい。

■地区概要■

取組面積：52ha（田31ha、畑21ha）

資源量：開水路6.9km

農道6.7km

ため池5箇所

構成員：農業者・非農業者 46名

交付金：約2百万円

（農地維持・資源向上支払共同）

■活動報告■

平成19年度より農地・水・環境保全向上対策交付金の活用を始め、非農業者や地域外農業者と連携し、地域の農用地及び施設の維持管理を行っている。

■活動開始前の状況や課題■

本地域は、中山間地域であり過疎化・高齢化による維持管理が困難な状況だった。

**■取組内容■**

センチピードグラスの吹付けを行い、農地や施設の草刈作業について労力節減に努めている。

除草剤

草刈

野焼き

吹付け

**■取組の効果■**

雑草の成長が抑制され、草刈作業の労力節減につながった。

また、地面や水路が認識しやすいため、安全な作業環境を整備することができた。

**豊後高田市広域協定 豊後高田市多面的機能支払協議会
(豊後高田市)
～保全会の新たな未来に向けて～**

活動開始前の状況や課題

【活動開始前の状況】

- 本市の農振農用地面積が 約3,462ha (R4年度時点)
- 本市の多面取組面積は 約1,760ha (R4年度時点)
- 全体の農振農用地のうち約50%が 多面取組面積であった

【活動開始前の課題】

- 豊後高田市全体で、高齢化が深刻化しており、活動人口の減少が進んでいた
- 煩雑な事務作業が、各組織の負担になっていた
- 代表や事務局の扱い手不足

【豊後高田市広域協定】

- | | |
|-------|----------------------------------|
| ・取組面積 | 1,659ha
(田1,002ha、畑657ha) |
| ・資源量 | 水路 308km
農道 200km
ため池 67カ所 |
| ・構成組織 | 43組織+6土地改良区 |
| ・活動期間 | R4年度～R8年度 |
| ・交付金 | 約9,785万円 (R6) |
| ・広報活動 | 回覧で周知 |

取組内容

- 各組織の事務負担を軽減、組織運営のサポートを実施
- 事務研修や技術研修の実施
- 長寿命化工事の施工
- 直営部隊による工事の施工



【各研修の開催】

【直営施工】

取組の効果

- 事務負担を軽減し、各組織の事務担当者の扱い手確保につなげた
- 各組織の主体性を保ちながら、活動を継続している
- 長寿命化や軽微な補修等での幅広い要望に応えている



【活動の様子】

【活動の様子】

うしがみほせんかい
牛神保全会(中津市)
～人が集まる仕組みづくり～

- 本地域は、都市化が進み住宅地のなかに農地が点在し、そのため農業者も著しく減少しており、農地や水路等の農業用施設の管理に苦慮している。
- 地域内の多くの若年層が構成員として積極的に農地維持活動に参加し、地域の環境保全はもとより、地域の活性化につながっている。また、若い世代が役員を担うことにより、次世代への継承も進んでいる。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、都市化が進み住宅地のなかに農地が点在。
- 農業者も著しく減少、農地や水路等の農業用施設の管理が負担になっていた。

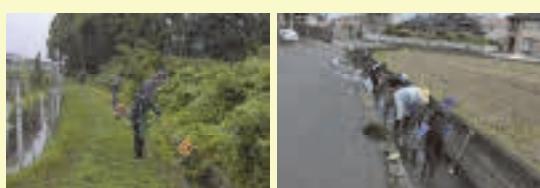


【地区概要】

- ・取組面積 7.3ha (田7.2ha 畑0.1ha)
- ・資源量 開水路 4.0km 農道 2.6km
- ・主な構成員 農業者・農業者団体
- ・構成員 9人
- ・活動期間 令和2年度～令和6年度
- ・交付金 約22万円 (令和5年度)
〔農地維持支払〕

取組内容

- 地域内の多くの若年層が構成員として積極的に農地維持活動に参加し作業を実施
- 地域内の40代・50代に事務負担の大きい書記・会計を任せることにより、事務処理を円滑に行っている。
- 構成員は年齢関係なく同じ目線で話し合いを行う。
- 総会や会議は全員が出席できる日に行うことを心がけ、積極的に会議に参加する状況をつくる。



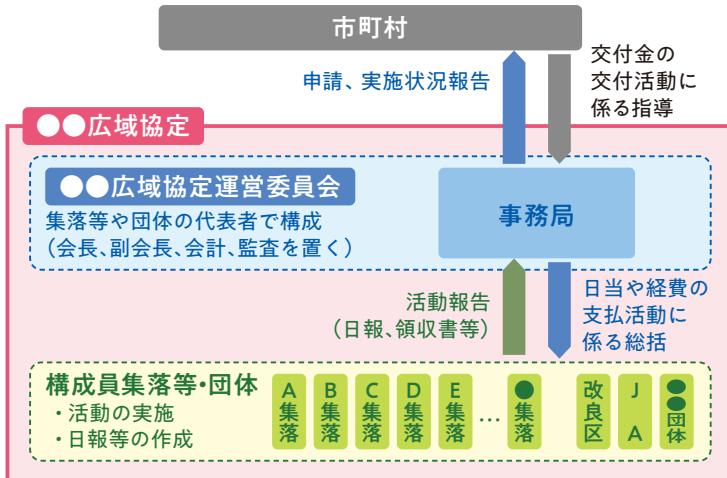
取組の効果

- 管理の行き届いた農地が増え、営農環境を確保出来ている。
- 若い世代が役員を担うことで、次世代への継承も進んでいる。
- 活動組織が地域の農業団体との懸け橋となり、地域住民の農業への関心・理解を醸成するきっかけをつくり、地域のつながりが深まっている。



広域活動組織とは？

広域活動組織の運営体制



広域活動組織の作業イメージ

(事務局とのやりとり)

各集落(旧組織)

- ・集落ごとの年間計画の策定



- ・作業日報の記録
- ・材料費の領收等
- ・活動状況の撮影

報告

提出

金銭支払

広域組織事務局

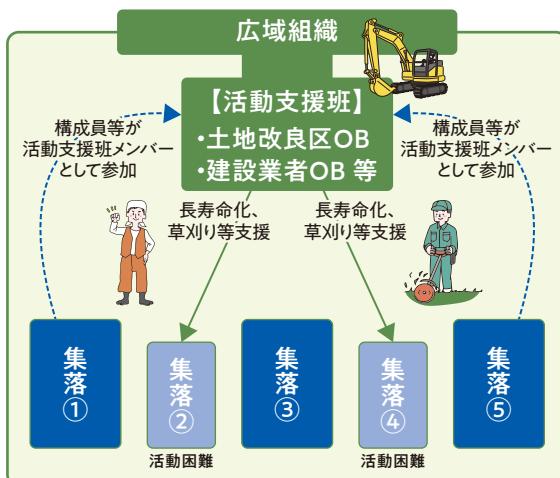


- ・日当等の集計、支払
- ・各種申請書類や実績報告の作成
- ・長寿命化工事の発注

活動支援班とは？

- ・複数の集落^{※1}で構成される広域活動組織^{※2}において、活動組織内の集落をまたいで共同活動^{※3}を支援することを目的として設置される作業チーム。
- ・活動支援班のメンバーは、活動組織の構成員であり、複数人で構成されていること。

- ※1 農林業センサスにおける農業集落をいう。(多面的機能支払金実施要領第1の4の(7)参照)
- ※2 活動支援班加算の制度の目的は、「活動支援班の設置」だけでなく、「広域活動組織の設立」を促進することであり、既に広域活動組織となっている組織が面積を拡大する場合や令和6年度までに広域活動組織を設立し広域化加算を受け取っていない場合は、支援の対象外。(増進項目は対象となる。)
- ※3 水路の草刈りや泥上げ等の基礎的な保全活動、長寿命化の取組だけでなく、農村環境保全活動等も対象。



大分県下には24広域活動組織が設立されています

年度	市町	名称	年度	市町	名称
H19~	杵築市	杵築市大田地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会	R1~	竹田市	みつば広域協定
	由布市	ひさご地域農地・水・環境保全組織		国東市	国東地域広域協定
	由布市	大分川左岸地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会		由布市	来鉢広域協定運営委員会
	豊後大野市	大野町みどり広域協定		大分市	大分市多面的機能保全広域協定
H26~	玖珠町	玖珠町農地・水・環境保全組織	R3~	大分市	吉野の郷広域協定
	日田市	ひた広域組織		杵築市	山香地域広域協定
	杵築市	杵築市多面的広域協定		豊後高田市	豊後高田市多面的機能支払協議会
	竹田市	荻地域広域協定		由布市	大津留地域広域化運営委員会
H29~	竹田市	久住地域広域協定	R4~	佐伯市	佐伯市多面的機能支払交付金広域協定
	竹田市	直入地域広域協定		豊後高田市	宇佐市多面的機能支払交付金広域協定
	豊後大野市	朝町地みどり広域協定		日田市	上・中津江広域協定
	日田市	上・中津江広域協定		宇佐市	安心院広域協定

事務負担軽減のため広域組織を設立しましょう

小学生向け学習動画を作成！～田んぼの多面的機能について動画で楽しく学ぼう～

田んぼの持つ大切な役割や魅力について子供たちが楽しく学べる動画を作成しました！

農業学習の導入や、田植え体験の事前学習、家庭学習教材などにぜひご活用ください！

YouTube
で公開中

動画の内容をちょっとだけご紹介 !! >>>



大切な米作り。田植えから稲刈り・ご飯になるまでをご紹介！



田んぼはさまざまな生きものが暮らす場所。生きものたちの命のつながりをご紹介！



田んぼのあぜを守り、水をためるための取組をご紹介！



生きもののすみかになっているだけじゃない！田んぼダムの仕組みを動画で解説！



農林水産省農村振興局
作成

お問い合わせ

地域協議会 大分県多面的機能支払推進協議会 ☎097-536-6631
県の機関 大分県農林水産部農地・農村整備課 ☎097-506-3722



高めよう
地域協働の力！

姫島村	企画振興課 ☎0978-87-2282	佐伯市	農政課 ☎0972-22-4659
東市	農政課 ☎0978-72-5167	竹田市	農林整備課 ☎0974-63-4806
筑市	農林水産課 ☎0978-62-1809	豊後大野市	農林整備課 ☎0974-22-1001
出町	農林水産課 ☎0977-73-3127	日田市	農業振興課 ☎0973-22-8211
市	農林水産課 ☎0977-21-1133	九重町	農林課 ☎0973-76-3804
町	生産振興課 ☎097-537-5799	玖珠町	農林課 ☎0973-72-7164
別府市	農林振興課 ☎0974-32-2229	中津市	農政課 ☎0979-62-9047
市	農林水産課 ☎0972-82-9514	豊後高田市	農業地域支援室 ☎0978-25-9400
分市	農林整備課 ☎097-529-7347	宇佐市	農政課 ☎0978-27-8157